

(4) ピーマン

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	作物名
うどんこ病	トリフミン水和剤	トリフルシゾール水和剤	3		3000～5000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	モレスタン水和剤	キキザリン系水和剤	UN*, M10		2000～3000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	ピーマン
					20g/100立方 畝(50m ² ×2m)	-	収穫前日まで	くん煙	3回以内	ピーマン
苗立枯病	オソサイド水和剤80	キャブタン水和剤	M4		800倍	2g/m ²	は種後から2～3葉期まで	灌注	2回以内	ピーマン
					種子重量の0.2～0.4%	-	は種前	種子粉衣	1回	ピーマン
灰色かび病	ロブラル水和剤	イブロジオン水和剤	2		1000～1500倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	ピーマン
斑点病	ダコニール1000	TPN水和剤	M5		1000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	ピーマン
アザミヤカ類	アドマイヤー1粒剤	イミダクロプリド粒剤	4A		1～2g/株		定植時	植穴又は株元 土壌混和	1回	ピーマン
アブラムシ類	アグロスリン乳剤	シペルメトリン乳剤	3A	劇	2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	アデイオン乳剤	ペルメトリン乳剤	3A		2000～3000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	アドマイヤー1粒剤	イミダクロプリド粒剤	4A		1～2g/株		定植時	植穴又は株元 土壌混和	1回	ピーマン
					1g/株		育苗期後半	株元散布	1回	ピーマン
	マラソン乳剤	マラソン乳剤	1B		2000～3000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	ロデュー乳剤	フェンプロパトリン乳剤	3A	劇	2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	ピーマン
オオカガ	アファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	6		2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	ピーマン
	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド水和剤	5		2500～5000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	ピーマン
カガ	アデイオン乳剤	ペルメトリン乳剤	3A		2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	ランネット45DF	メソミル水和剤	1A	劇	1000～2000倍	100～300g/10a	収穫開始14日前まで	散布	4回以内	ピーマン(露地栽培)
ネリムシ類	ダイアジノン粒剤3	ダイアジノン粒剤	1B		6～9kg/10a		は種時又は植付時	土壌混和	2回以内	ピーマン
ハスモンヨトウ	ランネット45DF	メソミル水和剤	1A	劇	1000～2000倍	100～300g/10a	収穫開始14日前まで	散布	4回以内	ピーマン(露地栽培)
ハダニ類	マラソン乳剤	マラソン乳剤	1B		2000～3000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	ロデュー乳剤	フェンプロパトリン乳剤	3A	劇	2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	ピーマン